

平成27年度 看護職トップマネジメント研修報告

看護局では、平成27年10月27日トップマネジメント研修を横浜中央看護専門学校で開催しました。今回の研修目的は、「医療・看護・介護・福祉等の最新情報を得て、病院・施設の運営に活かす」としており、病院施設のトップマネージャーである看護部長・介護看護部長45名が研修対象者、その他聴講者16名が加わり合計61名の参加となりました。講師は参議院議員石田昌宏先生をお招きして、保健医療福祉の政策動向から「平成28年度診療報酬改定に向けて」をテーマに講義をしていただきました。超高齢社会・地域包括ケアシステムと効率的な質の高い医療提供体制・経済財政の3つの基本認識から次期診療報酬改定の基本的視点のとらえ方をおさえ、中医協の入院医療等の調査・評価分科会における検討結果（とりまとめ）と様々な調査データとを照らし合わせながら、課題から論点まで解説していただきました。研修開始直後、「医療を受ける患者さんは退院するとき不幸な状況になってはいませんか？提供する側である私たちも幸せでしょうか？」と石田先生が私たちに問いかけられた言葉が大変印象に残っています。3時間に渡る研修でしたが、最後は夜勤時間72時間要件について、療養型病院に関する情報、介護老人保健施設の厳しい経営状態など、活発な質問・意見交換がなされて終了となりました。平成28年度の診療報酬改定、そして平成30年の診療報酬介護報酬同時改定に向けて各病院施設が先を見据え、目指すべく方向性を考える機会になったのではないかと思います。



参議院議員 石田昌宏先生

看護師等養成実習指導者表彰を受けて

当院看護部はこの度神奈川県保健福祉局と神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会より、多年にわたり看護学生の実習指導を努めたということで、表彰されました。

現在実習指導者は私を含め15名。看護学生を受け入れ始めたのは平成11年からでしたが序々に受入数が増え、この16年間で関わった学生の総数は2058名におよびます。多忙な勤務の中でも真摯に学生指導に向き合ってくれる『実習指導者』の努力が認められたうれしい受賞でした。「精神科看護の魅力」を伝えることに尽力してきたことは間違っていなかったと思いました。

平成21年にはEPAのフィリピン人看護師を受け入れ、4年かけて平成25年に無事国師合格へと導きました。その看護師は現在も日本人と変わることなく立派に勤務しています。

今年度の機能評価受審の際にもこの点が評価され「S」を頂きました。今後もさらに充実した環境で学生と関わっていきたくと考えています。



横浜相原病院 看護部長 古口尚美

カウンセラーからの Did you know? 豆知識 NO.13

今年も終わりに近づき、新人職員の方は、業務や職場の人間関係にも慣れてきて、以前より周りが見えるようになってきたのではないかと思います。周りが分かるようになってくると、自分らしく付き合える人もいれば、本当はうまく付き合っていきたいのに気が合わないと感じる人も中にはいらっしゃるかもしれません。職員の方のお話を伺う中で、次の様なとらえ方の違いがあるように感じました。



Aさんの方が、本人なりに納得のいく付き合い方に繋がっている印象を受けました。
 今、どんな関係を築いていますか？今までの関係のあり方は、あなたにとって必要な方法だったと思います。その方法は良しとしつつ、色々な関係づくりのスキルを実践してみませんか？ 対処スキルは多いほど、状況・相手に合わせて柔軟に対応しやすくなります。もう自分らしく誰とでも付き合えている方、うまい方法をされている方は是非続けて下さいね。また次回お会いしましょう。

おおなぎ えるみ
臨床心理士 大極 絵る実